

令和5年度第2回白井市公立保育所の役割及び体制検討委員会会議録（概要）

- 1 開催日時 令和5年7月14日（金） 午前9時45分から午後1時まで
- 2 開催場所 （視察）市内保育所等
（意見交換）保健福祉センター2階 研修室2
- 3 出席者 手塚委員長、阿部委員、内藤委員、富澤委員、堀江委員、
浅利委員、田村委員、長堀委員、永田委員、稲田委員、松尾委員、
武田委員、相馬委員
- 4 欠席者 なし
- 5 事務局 片桐保育課長、工藤主査、田口主査補
- 6 傍聴者 なし
- 7 議題 ①市内保育所等の視察 (公開)
②意見交換会 (公開)
③その他 (公開)

8 議 事

【市内保育所等の視察】

事務局 （資料1から6により説明）説明後、視察実施。

- (1) 1班 白井ふじこども園 ⇒ 南山保育園
- (2) 2班 こぞくら保育園 ⇒ 清水口保育園
- (3) 3班 ひまわりこども園 ⇒ 桜台保育園

【意見交換会】

事務局 令和5年度第2回白井市公立保育所の役割及び体制検討委員会 意見交換会 を開始する。

本日の検討委員会は、委員13名中、13名の出席があり、過半数が出席しているため、白井市附属機関条例第6条第2項の規定に基づき、この検討委員会が成立することを申し上げる。

また、会議は原則として「市の会議の公開に関する指針」に基づき、公開とする。ただし、白井市情報公開条例に定める非公開情報に該当する事項の審議を行う場合は公開しないことができる。非公開とするときは、あらかじめこの委員会に諮り、過半数の議決を取り決定するものとする。

委員 (承認)

事務局 では、議題の前に課長よりひとこと申し上げる

事務局 視察では、公立、私立を見ていただいた。私立は各園それぞれに特徴があったと思う。まずはグループワークで忌憚ない意見を出し合い、その後発表していただくことで、感想や意見を深めていきたい。

事務局 それでは、ここより委員長に進行をお願いします。

委員長 了解した。それでは意見交換の流れなどについて、事務局より相談を

願う。

事務局 (資料5により説明)

以降

班ごとに個人ワーク、意見交換 (グループ)

全体で意見交換 (全体)

以下委員から出された意見を全て列記

1 班

●白井ふじこども園について

- ・療育担当責任者の話が聞きたい
- ・保護者との対応、どのような案件が出ているかなど
- ・てんでんこ利用児童の1週間のスケジュール
(こども園での過ごし方や保育士のフォローなど)
- ・療育を受けている子供たちの1日のスケジュール
- ・療育の専門性について
- ・てんでんこ保育園の連携をもう少し詳しく知りたい
- ・巡回の話 (発達センター職員の巡回?) を詳しく聞きたい
- ・療育の1日の流れ
- ・療育を受けている児童の保護者支援
- ・療育の専門職の配置について
- ・支援施設と近い距離で連携しており、支援が必要な児童の情報連携がしやすい。
- ・防犯、アレルギー食に関する説明がよく分かった。工夫がされていた。
- ・3歳児クラス 22人の子どもを配慮が必要な子も含めて全体で保育する。 → 複数の保育士で保育することで偏りが少なくなる? 全員で共有、把握。
- ・アレルギー食の配膳について) 色、専用トレーの区別だけでなく、保育士間で目でお互いに確認し合うことが重要になってくる。
- ・各クラスにトイレがあり、職員が目が届きやすく良いと思った。
- ・各クラスにトイレが設置されており、子どもの様子が把握しやすい。
- ・敷地内に療育施設があり、保育時間内に療育を受けることができるので、保護者の就労を保証できる
- ・てんでんこの保護者へのサービスが良いと思った。支援と保育の両方同時に受け入れている。
- ・子どもたちが給食を作っているところを見ることができる。
- ・給食の匂いが各所で感じられてよかったと思う。

●南山保育園について

- ・お盆の色を変えて間違えのないようにする。(アレルギー食)

- ・年齢によっては、食器の持ち方など写真に貼るなどして視覚支援をしていた。
- ・給食の配膳など工夫されていた。
- ・定員の規模にもよるか、公立の方が保育配置が多いように感じた。しかし、この中に正規職員は 1/3 程度であると思うので、今の状況では正規と非正規のバランスが悪い。
- ・普段の様子より落ち着いていた。別の場面の方が加配のお子さんの様子などが分かりやすかったかも。
- ・アレルギー除去食についてどのような流れで行われているのか。
- ・2歳児クラスでも着替え等なるべく1人でやらせる。→生活能力の向上

●共通

- ・1歳児クラスの先生 +1人いた方が良いと思う。特に給食の時とか。
- ・1～2歳 先生+1人ほしいと思った。
- ・保育士が楽しそうに勤務していると感じた。

2 班

●施設面

- ・紙ベースから少しずつデジタル化へと変化しているのが分かった。
- ・人数が少ないということと、建物の構造上、全体が把握しやすいと感じた。また、自分の園と比べるとゆったりしている感じがする。
- ・公立保育園の園庭が狭いことが気になった。（隣に公園はあるが）

●安全面

- ・子どもに発熱がある場合に登園を拒否する基準があるのか。
- ・園内で子どもの様子が急変した場合に対処する手順等はあるのか。
- ・園児の急な発熱、体調不良の対応。時間外でも大丈夫？
- ・登園していない園児の家庭への電話確認は安心できる。他の園はしているのか？
- ・インターホン対応での会場は安心。
- ・アレルギー対応。どの園も的確に対応していた。

●保育士

- ・保育士の確保の難しさ
- ・保育士の出勤の体制（遅、早）や、休暇等の取り方、土曜出勤や行事のこと
- ・保育士不足にどう対応するか。
- ・保育士の研修はどのようになっているか。

●その他

- ・加配児童としての受け入れを断る場合はあるのか。あるとしたらその基準はあるのか。
- ・暴力をふるう子や協調性がない子の対処方法は。（親にも問題がある

場合が多いのでは。)

- ・虐待がうかがわれる子どもがいた場合の対処方法は。
- ・通常の中において支援が必要と思われる子どもにどう対処するのか。
(発達センターとの連携など)
- ・公立、私立の保育料の違い
- ・私立保育園は、他園もじっくり見て、どのような保育をしているのか見てみたい。

3 班

●保育内容

- ・体育の先生→研修
- ・畑で食育
- ・立地を活かした畑や芝生と遊具の充実
- ・子どもたちが元気に遊べる環境

●保育環境

- ・宗教食の対応が大変。
- ・本日（視察日）の状況は、食事させたり移動がなかったので忙しさがあまりわからなかった。
- ・職員数が少ないことですれ違いが多く、コミュニケーションがとりにくい。
- ・食事の準備、掃除など、雑務的なことをする子育て支援員（の配置）により、（保育士が）保育に集中。
- ・ゆとりがないと、保育環境、労働環境の改善は難しい。
- ・1歳児 1：6→1：5 ※さらに、雑を負担する子育て支援員を1名配置し、配膳、洗濯、掃除をしてもらっている。
- ・2歳児 1：6→1：5 ※トイレ掃除を用務員にしてもらう。
- ・加配児に対する対応。

●労働環境

- ・正規職員が増えれば・・・、責任分散。ゆとり。
- ・職員の休憩不足
- ・職員同士のコミュニケーション
- ・職員配置→ゆとりある配置なのか。
- ・職員の休憩
- ・職員の仕事量
- ・業務の削減について、保育士とどのくらい園長たちは意見交換しているの？

委員長 各班から色々な内容の意見があったので、事務局は、内容を取りまとめ、委員全員へ共有をお願いします。

本日の意見交換の内容を踏まえて次回会議の議題を決定したいが、今回様々なご意見をいただいております、この場で次回会議の議題を絞り

込むことは難しい。

また、今回の視察や意見交換を踏まえて、より詳しく知りたいということや、分からないことなどがあるかと思う。今後、公立保育所の課題などを整理していくにあたっては、皆さんの分からないことは、できるかぎりそのままにしないで議論を進めていきたい。

そこで、委員の皆さんにおかれては、詳しく知りたいことや、分からないことなどがあれば、今日から2週間程度を目安に、事務局にご連絡いただきたい。特に、市民参加の皆さんは、分からないことなどあれば、ささいなことでも遠慮せずにお伝えいただきたい。

次回会議の議題は、今日の意見交換の内容と、後ほど提出された皆さんの知りたいこと、分からないことなどを踏まえて、私と事務局で調整していく。

では、以上で意見交換を終了する。

これ以降の進行は、事務局にお返しする。

事務局 それでは、次第の3 その他 を説明する。（資料3により説明）
以上で、本日の会議を終了する。

使用した資料

- ①資料1 市内保育所の視察について
- ②資料2 視察施設の特徴
- ③資料3 施設ごとの利用児童数、保育士数等一覧
- ④資料4 公立保育所の職員配置状況（令和5年度）
- ⑤資料5 意見交換について
- ⑥資料6 視察施設への委員からの質問について（事前送付分）